

7月定例会 可決した主な議案

●内本町コミュニティ協議会助成事業 188万8千円
コミセンの会員は東集会所の空きスペースを使用できます！

●片山プール災害復旧事業 9,680万円
屋内プールが令和2年4月に再開予定！

●日の出住宅解体撤去工事請負契約締結 2億4,328万5,900円
令和2年12月11日完成予定。跡地は一部売却、その他協議中。

●病児・病後児保育事業 1,828万4千円
山田・千里丘地域に1か所整備。引き続き、拡充に向けて取り組みます！

●不妊治療費助成事業 1,050万5千円
大阪府の不妊治療費助成事業の対象外となる方に対する助成（詳細は市HPを）

●胃がん検診事業 832万6千円
胃内視鏡検査が自己負担2,000円で受診できます。（50歳以上）

『日の出住宅跡地に関連付けた吹三公民館建替えについて』

質問①

吹三地区公民館を地区公民館改修計画に基づいて、延べ床面積330m²以上を確保し、現地建替えをする場合は、遊園横の保育所や公園利用者への配慮、関係部局との協議が必要になるが、具体的にどのようなハードルがあるのか。

理事者 350m²～400m²の延べ床面積を確保する場合、遊園面積が狭くなる可能性がある。
その場合、遊園利用者等の理解が必要。緑被率の問題もある。

質問②

仮に吹三地区公民館を350m²～400m²確保した上で、現地建替えした場合、真横の遊園面積が狭くなる可能性があるが、旧日の出住宅に検討予定の公園面積を一定確保することで、（基本は売却が前提）狭くなった分を代替することは可能か？それが可能であれば、吹三地区公民館の現地建て替え、JR以南地区的課題である緑被率の向上や空間の確保、総合建替え事業の財源の捻出等、一気に課題解決に繋がるが、副市長の見解は？

副市長 旧日の出住宅の用地の活用については、用地を売却して集約する考え方との整合性や、
緑や空間の確保という課題への対応という視点で検討が必要。
現地建てかえする場合の用地確保等については、課題も多いので、今後、積極的に課題解決に向け、
関係部局間での協議を深めていく。

沢田の見解

現地建て替えで進める場合は、質問のような手法になるかと思うが、仮に実現をしても工事中の代替地は必要。**第2案としては、日の出住宅跡地に吹三地区公民館を建てるケース。**一定の面積や駐車場も確保でき、代替地の必要もないが、東地区公民館から近すぎること、小学校などから離れることで、利用者が低下する懸念はある。



自由民主党



絆の会通信

～誇れる吹田を次世代へ～

沢田なおきの議会活動 今号のTOPIX

令和元年
夏号
Vol.17



『万博記念公園への会場集約は、「吹田まつり」の目的に適うのか』

- 吹田市立小学校で生じた『いじめ事案』について
- 日の出住宅跡地に関連付けた吹三公民館建替えについて
- 文教市民委員会での質問 ●その他

吹田市議会議員 (2期) 沢田なおき

S52.5.9 会社員の長男として生まれる。末広町在住、2児のパパ。

玉川学園幼稚園 → 東山田小学校 → 千里丘中学校 →
大阪学院高校 → ロンドン留学2年半 →
関西学院大学法学部政治学科卒 →
民間企業勤務を経て、議員秘書、予備自衛官

趣味 サッカー、ジョギング（フルマラソン3時間54分で完走）、旅行（海外23か国・地域訪問）、読書（歴史・政治経済）

家族構成 妻、長男4歳、長女2歳

所属委員会
文教市民常任委員会 委員
北大阪健康医療都市（健都）のまちづくり等検討委員会 委員長



市政相談受付中！ メール、電話、SNS又は連絡事務所、会派控室まで、どんなことでもお気軽にご相談ください。

連絡用メール naokisawada2002@gmail.com

連絡事務所 TEL&FAX.06-7708-7966 吹田市末広町2-9

自民党控室 TEL.06-6337-6851 FAX.06-6337-6852 〒564-0041 吹田市泉町1-3-40 吹田市役所中層棟3階

Facebook／twitter／ブログ／Instagram 沢田 なおき



発行／自由民主党絆の会



『万博記念公園への会場集約は、「吹田まつり」の目的に適うのか』



- 市民参加で市民相互の連携強化
- 未来を担う青少年の夢と活力を育む
- 市内商工業の発展に寄与



8/3の江坂・南千里会場、8/4の本祭り(吹田会場)と3会場全て回りましたが、どの会場も上記の目的にかなう、地域に根付いた素晴らしい祭りでした。市内の500以上の団体、事業者、小さなお子さんから年配の方まで多世代が参加し、50年間地域の愛着や誇りの醸成に寄与してきましたが、この地域に完全に定着した**吹田まつり3会場**を来年以降は、**万博記念公園へと集約**させるそうです。(予算はまだ通っていませんが)

私の議会質問から判明したことは、

①万博記念公園の入場料を無料とする

- 例年の入場者約5万人を大人2.5万×180円、子供2.5万×80円の団体料金で計算すると650万円の負担増
- 吹田市民と茨木市民をどう区別するのか…

②アクセスの悪くなるJR以南や市中部からシャトルバスを運行

- 台数によるが数百万の負担増?

③「吹田まつり」の名前をなくす

- 8/4の片山会場で市長が明言

④過去に第4回、第6回と計2回万博記念公園で吹田まつりが開催されているが、その後は一度も開催されていない。**その検証もしていない。**

⑤有形民俗文化財である地車の唯一の曳行の機会がなくなる。

- 高濱神社を氏神さんとする自治会を中心に残す動きも出てきましたが、道路許可等ハードルが多い

⑥来年度は、**市制施行80周年記念事業**と絡めて、3会場のまつりの形を変えて残す可能性あり他にもいくつか質問をしましたが、理事者の答弁からは、「会場が広い」ぐらいしかメリットを感じませんでした。

沢田の見解

吹田まつりは長い歴史の中で、試行錯誤を繰り返しながら、現在の形になりました。多くの地域から電車賃やバス代を払うか、シャトルバスに乗らないと行けない新しい祭りは、余程の魅力がないと、足が向かないでしょう。有名人を呼んだり、派手なイベントをしたりすれば人は集まるでしょうが、**吹田まつりの目的から逸脱**します。

市は「実行委員会が決めたことだから」と、隠れ蓑にしていますが、結果的に吹田市の南北を分断し、先人が長年に渡って築き上げた地域の絆を破壊することになるのではと、憂慮します。

今後の動き

9月末にもう1度、関係者の話し合いがもたれると聞いていますので、今後の動きに注視し、場合によっては有志で新しい実行委員会を立ち上げるなど、吹田まつり存続に向けて、あらゆる手を尽くしていきます。

『吹田市立小学校で生じた「いじめ事案」について』

「吹田市いじめに係る重大事態調査委員会」より調査報告書も公表されているため、詳細をご存知の方も多いと思いますが、平成27年～平成29年3月ごろにかけて吹田市立小学校内で生じた「いじめ」事案について、マスコミ等で大きく報道されました。今回のいじめ事案は、問題点を挙げればきりがないくらいあるわけですが、主な点だけでも

①学校生活アンケートの取り扱い

- 児童が発したSOSを担任が深刻に受け止めなかった
- アンケートの3年間の保管義務が守られていない(担任の判断で破棄)、情報共有されていない

②組織体制の問題

- 前校長は、いじめ防止対策推進法第22条が設置を義務付けているいじめ防止対策のための組織を立ち上げていない
- いじめ不登校虐待防止委員会があるものの、いじめ事案についての検討はなし
- いじめの対応は個々の教師任せで組織的な対応はなし

③市教育委員会の対応

- 初期対応について、学校に対し必要な指導助言ができていない
- 被害児童保護者からの「第三者委員会設置要望」を真剣に取りあげていない
- 管理職等の教員とスクールカウンセラー、SSC等の専門家と具体的な協議を行なはずのコア会議が機能していない

④市長の対応

- 被害保護者からの内容証明郵便による**「第3者委員会設置」**に対する市長の回答→**第3者委員会設置に一切触れず**
 - 夏祭りで、被害保護者が市長へ直訴→「教育と行政は別物である」旨の回答。
- ※所見によると、「被害者ご家族が強い徒労感を覚えたとある。」

普段、市長と接することのない市民にとっては、夏祭りの場とはいえ、市長に直訴するということはかなり勇気がいることであり、それだけ思い詰めた行動に対して余りにも冷たい返答。まるで、「自分たちには関係ない」と仰っているように聞こえます。もう少し寄り添った対応ができなかつたものなのかなと疑問を呈します。そもそも今回の事案は、児童の一番近くにいる大人たちが**被害児童に寄り添った対応が全く出来ていなかつたことに**起因いたします。

①～④の対応の拙さだけでなく、報告書に何度も対応の拙さが指摘されている前校長は、今でも市内の別の小学校で校長をしています。管理職の責務を全く果たせていない人が、引き続き校長職に当たる人事はどうなのか? (人事権は府にあり)

これを知った保護者は果たして、その学校に子どもたちを預けたいと思うのか。そこまで想像して人事を行うべきです。

結局、調査報告書公表までに、1年8か月かかっています。初動の遅さがこのような事態を招いたのでは。処分するにも主要な関係者2名は既に退職しています。

●クラス編成の問題(要支援の児童たちをダブルカウントすることで1クラスが40数名になる)

●元々の担任が休暇、長期療養した際のフォローバック体制

●そもそも現行の教育委員会制度の問題(市には人事権はない、市民感覚との乖離、閉鎖的な組織)

こういったところにも目を向けなければ根本的解決には至りません。市も早速、**副市長をトップとする全庁横断的にいじめ問題を対応する組織**を立ち上げ、

今後、**第3者機関によるチェック体制の強化**を図っていくとのことです。

私も発表された「今後の対応策」等がきちんと履行されているのか、議会等、様々な場を活用し注視して参ります。」

大阪府吹田市立小学校でのいじめを巡る経緯	2015年秋ごろ 女児が同級生の男児5人からいじめを受け始める
	16年3月 女児がいじめにより左足を骨折
	6月 女児が学校のアンケートでいじめを訴えたが、担任は深刻ないじめではないと判断
	17年3月 女児からいじめを打ち明けられ、母親が学校に被害を訴える。女児は自分が見えにくくなり、心的外傷後ストレス障害(PTSD)と診断される
	4月ごろ 女児の親が第三者委員会の設置を求めたが、市教委は応じず
	6月 女児の親が大阪府警に被害届
	7月 府警がいじめに関わった男児5人を児童相談所に通告
	8月 市教委が第三者委員会の設置を決定
	10月 第三者委員会が調査を開始
	19年6月 第三者委員会がいじめを認定